

令和5年度とちぎ健康福祉協会事業計画

I 事業運営方針

令和5年度は、期間を延長したとちぎ健康福祉協会基本計画（三期計画）を締めくくる年度として、「質の高いサービスの提供」、「自主自立経営の確立」、「地域社会への貢献」の3つの基本方針のもと、各施設等における事業を推進していく。

事業の着実な推進には、職員が持つ能力を十分に発揮し、やりがいをもって働くことができる職場づくりが重要であり、キャリアパス形成を図る人材育成体制の充実に取り組むとともに、勤怠管理システムの導入を図り、適正な労働時間の把握に努めつつ、業務の効率化を図るなど、職場環境の整備に取り組む。

社会福祉事業にあっては、福祉施設において欠員状態が続いているなど、福祉人材の確保が深刻な課題となっており、さらなる広報媒体の活用や採用方法の拡充により、人材の確保に努めていく。また、桜ふれあいの郷においては、令和3年度及び令和4年度に発生した不適切な支援を踏まえて策定した「桜ふれあいの郷再出発計画」に基づく取組みを進めるとともに、かねてから課題となっていた障がい者支援センターふれあいの建替整備について、着実に取り組んでいく。

公益事業にあっては、令和5年度が最終年度となるとちぎ健康づくりセンター、とちぎ生きがいくりセンターの指定管理業務について、より一層のサービスの向上を図るとともに、次期指定管理の指定に向けて申請を行う。

令和6年度から令和10年度までの5か年における次期基本計画（四期計画）については、令和4年度に実施した基本計画（三期計画）の検証の結果を踏まえ、幅広く意見を取り入れながら策定する。

II 重点事項

令和5年度は、次の事項について重点的に取り組む。

1 人材の確保・育成・定着

(1) 人材の確保

様々な広報媒体を通じてより広く法人の魅力を発信していくとともに、インターンシップなどの新たな採用方法を取り入れ、人材の確保に努める。

(2) 人材の育成

キャリアパス等級制度と連携した階層別育成計画の策定や資格取得支援制度の充実に努め、人材の育成を図る。

(3) 人材の定着

新たな勤怠管理システムの導入により適正な労働時間の把握などに努めるとともに、福祉施設において、職員間の十分なコンセンサスに基づく ICT 導入を検討するなどし、やりがいのある職場環境の整備に努め、人材の定着を図る。

2 事業継続計画（BCP）の策定

各施設等においては、新型コロナウイルスなどの感染症に係る事業の継続に係る計画に加え、地震や水害等の自然災害時における計画を作成し、危機管理対策を講じる。

3 障がい者支援センターふれあい建替整備の推進

障がい者支援センターふれあいについては、適地を確保し、同一敷地にあるグループホームも含めた建替整備を推進する。

4 指定管理業務の総括及び次期指定管理の申請

とちぎ健康づくりセンター、とちぎ生きがいつくりセンターについては、指定管理業務を着実に実施するとともに、これまでに蓄積してきたノウハウを生かし、県民の健康、生きがいつくりに資するため、次期指定管理の指定に向けた申請を行っていく。

5 次期基本計画（四期計画）の策定

三期計画の検証結果等から明らかとなった課題をもとに、広く職員の意見を取り入れながら検討を進め、令和6年度から令和10年度までの今後5年間の法人の目指す方向性と、その実現に向けた取組を示す次期基本計画（四期計画）を策定する。

Ⅲ 事業運営

1 総務福祉部

(所管事業)

事業所名		施設種別・事業名称等		利用定員	備考
わかくさ		母子生活支援施設		20 世帯	
桜ふれあいの郷	桜ふれあいの郷 児童施設	福祉型障害児入所施設		15 人	
		障害者支援施設（併設）	施設入所支援	15 人	
			生活介護	15 人	
	短期入所		1 人		
	桜ふれあいの郷 生活支援施設	障害者支援施設	施設入所支援	130 人	
			生活介護	135 人	
			短期入所	3 人	
			日中一時支援	15 人	
	桜ふれあいの郷 就労支援施設	障害者支援施設	施設入所支援	40 人	
			生活介護	40 人	
就労継続支援B型			40 人		
短期入所			1 人		
障がい者支援センター ふれあい	共同生活援助		54 人	8 住居	
	障害者就業・生活支援センター			雇用安定等事業(国) 生活支援等事業(県)	
	職場適応援助者事業			高齢・障害・求職者雇用支援機構	
	特定相談支援事業				
	一般相談支援事業			障害者総合支援法(指定)	
	障害児相談支援事業				
清風園	清風園 生活支援施設	障害者支援施設	施設入所支援	50 人	
			生活介護	53 人	
短期入所			5 人		
日中一時支援			5 人		
清風園	清風園 就労支援施設	障害者支援施設	施設入所支援	50 人	
			生活介護	45 人	
			就労継続支援B型	20 人	
			短期入所	2 人	
			日中一時支援	2 人	
宝木保育園		保育所		160 人	

(1) 総務課

協会本部としての総合的企画調整機能及び経営管理体制の充実強化に努めるとともに、令和5年度で最終年度を迎える基本計画（三期計画）の検証結果を基に、各施設等と連携しながら今後の法人の目指す方向性とその取り組みを検討しつつ、新たな計画を策定する。

また、深刻な課題となっている福祉施設における人材不足については、採用方法の拡充などにより人材の確保に努めていく。

さらに、キャリアパス等級制度と連携した職員研修制度や資格取得支援制度の充実などにより、法人全体の職員の資質向上に向けた取り組みを実施していくとともに、勤怠管理システムを導入し、正確な労働時間の把握や適切な勤怠管理の実施に取組み、働きやすい職場環境の整備に努めていく。

なお、次の事項について、重点的に取り組んでいくこととする。

(主な取組内容)

① 質の高いサービスの提供

ア 安全で快適な利用環境の確保

○災害時版の事業継続計画（BCP）の策定と、策定に伴う研修や訓練等の実施による法人内連携体制の強化

○障がい者支援センターふれあい及び同一敷地にあるグループホームの移転に向けた適地の確保による建替整備の推進

イ 人材の確保及び職員の資質向上

○インターンシップ等の実施や人材確保に繋がる多様な広報媒体の活用

○キャリアパス等級制度や人事考課制度等、各種制度の運用方法を掲載した「キャリアパス制度運用ガイドブック（仮）」の作成

○職員研修制度整備によるキャリアパス制度に基づく職務能力の向上及びリーダー層育成への取り組みの強化

○職務上必要な専門知識等を習得するための職員研修制度と資格取得支援制度の充実に向けた検討

ウ 情報公開の推進

○分かりやすい情報発信に向けた各施設等ホームページの統一化

○インスタグラムなどの様々な媒体を活用した法人の事業内容やイベント等の継続的発信

エ 各施設・事業の連携による相乗効果の創出

○事務の円滑な推進を図るための施設等連絡調整会議の定期開催

② 自主自立経営の確立

ア 経営管理体制の強化

○社会福祉施設の建替えや既存施設の大規模修繕に備えた資金計画等の作成

イ 健康経営の推進

○労働基準法や就業規程に定める服務規律への理解や認識を深めるための研修の実施

○新たな勤怠管理システムの導入による労務管理の徹底強化

○業務の平準化を図るための給与システムのマニュアルの作成及び給与、旅費支給の手引きの作成

(2) わかくさ

母子生活支援施設の特徴をいかし、親子関係の再構築と生活の安定が図られるよう、チームによる支援の実施により、就労や日常生活及び児童養育に関する相談支援を行うとともに、退所後の相談やその他の援助を行うことで社会的自立を促進する。

また、子どもの貧困対策の推進に努め、関係機関と連携し、児童の生育環境等の整備に取り組む。

なお、次の事項について重点的に取り組んでいくこととする。

(主な取組内容)

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

○母親の心情変化等への早期気づきによる子への虐待防止、早期発見

○誰が見ても分かりやすい利用者向け「利用案内」の見直し

イ 安全で快適な利用環境の確保

○利用者ニーズを踏まえた支援方法の共有化を図ることによるチーム支援の実施

○小中学生の学力向上を目的とした学習教室の開催

○母親の気分転換のための補完保育の実施

○支援の質の向上等を図るための第三者評価の受審

○DVにより避難してきた母子を保護するため、無断外出等で所在不明となった利用者捜索のための警察署との連携

○災害時版の事業継続計画（BCP）の策定及び研修等の実施

ウ 人材の確保及び職員の資質向上

○キャリアパス制度に基づくOJTの活用

② 自主自立経営の確立

ア 健康経営の推進

- 専門性を重視した役割分担による円滑な支援の実施
- 入所希望者の施設見学や福祉事務所との連絡調整のための Zoom 等の有効活用

イ 収入の確保と経費節減

- 福祉事務所へのパンフレット送付等による施設事業内容の周知
- 施設見学の積極的な受入れや来所困難者に対するオンラインでの面談等の実施
- 省エネ・省資源の呼びかけによる消耗品や電気使用量等の削減

③ 地域社会への貢献

ア 福祉人材・支援技術の活用

- ひとり親世帯を対象とした養育講座の実施に向けた検討

イ 施設の特性をいかした地域貢献活動

- 母子支援に関する専門性をいかした相談受付事業の検討
- 県、福祉事務所から依頼を受けた緊急に居所を必要とする母子(単身婦人可)を対象とする緊急一時利用の受入

ウ ボランティアの育成と連携

- 子どもたちとの交流を目的としたボランティアの受入
- 秋まつり等の行事を活用した地域と施設との相互交流を図る機会づくり

(3) 桜ふれあいの郷

利用者の権利擁護に努め、自己選択と自己決定が図られるよう、その意思及び人格を尊重するとともに、利用者個々の能力に応じた自立と社会活動への参加を促進するため、質の高い障害福祉サービスを提供する。

また、利用者の心身の状態や地域生活への意欲等を勘案しながら、グループホーム等地域生活への移行を進め、「障がい者支援センターふれあい」を地域で生活する障害児者及びその家族に対する支援の拠点とし、総合的な福祉サービス事業を推進する。

さらに、職員からの意見等を反映し策定した「桜ふれあいの郷再出発計画」について、協会本部と連携しながら、施設一丸となり、計画の着実な推進に取り組む。

なお、次の事項について重点的に取り組んでいくこととする。

(主な取組内容)

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

- 桜ふれあいの郷再出発計画における優先課題の解決に向けた取組み
- 事故及び虐待疑い事案の未然防止に向けた取組み
- 利用者の高齢化及び重度化や利用ニーズを踏まえた支援体制の見直し

- イ 安全で快適な利用環境の確保
 - 災害時版の事業継続計画（BCP）の策定及び研修等の実施
 - 居室の個室化・ユニット化を踏まえた支援方法等の見直し及び構造や設備等の不具合箇所への対応の検討
 - 障がい者支援センターふれあい及び同一敷地にあるグループホームの移転に向けた適地の確保による建替整備の推進
- ウ 人材の確保及び職員の資質向上
 - 研修等による利用者の権利擁護・虐待防止の理念の醸成
 - 研修計画に基づくサービス管理責任者・相談支援専門員の育成
 - 高齢化、重度化した利用者への対応に向けた医療ケア・支援技術取得のための研修受講
- エ 情報公開の推進
 - 保護者等への支援状況の報告及び適宜文書等による連絡通知
 - ホームページのリニューアルや積極的な情報発信の実施
- オ 各施設・事業の連携による相乗効果の創出
 - ナイスハートバザール、カルフルとちぎ等のイベントへの積極的な参加
 - 工賃向上に向けたシルバー大学校等における就労支援事業製品の販売促進
- ② 自主自立経営の確立
 - ア 健康経営の推進
 - 支援記録、請求等の関連システムの連動による業務効率化に向けた検討
 - 職員から意見を聴取するなどし、風通しの良い働きやすい環境づくりの構築
 - イ 収入の確保と経費節減
 - 困難なケースへの対応及び新規利用者の受入れ体制の検討
 - 適正な在庫管理による物品の節約、節電等への取組み
- ③ 地域社会への貢献
 - ア 福祉人材・支援技術の活用
 - 専門的な知識等のある職員の外部研修への講師派遣
 - 中学生等による体験学習の受入
 - イ 施設の特徴をいかした地域貢献活動
 - さくら市との「福祉避難所の設置運営に関する協定」及び「福祉避難所への災害福祉支援員の派遣に関する協定」に基づく対応の準備（継続）
 - 栃木県災害福祉支援チーム（DWAT）への登録及び研修受講（継続）
 - ウ ボランティアの育成と連携
 - 「桜ふれあいの郷まつり」や「センターふれあい交流会」における地域住民とのふれあいの実施
 - 「桜ふれあいの郷まつり」におけるボランティアの受入

(4) 清風園

利用者の権利を擁護し、自己選択や自己決定の意思を尊重しながら、自立と社会参加を支援することにより、利用者の自己実現を図るとともに、ICT 機器の導入を検討するなどし、質の高い障害福祉サービスを提供する。

また、障がい者支援センターふれあいなど、関係機関と連携し、定員の確保に努め、経営の安定化を図る。

なお、次の事項について重点的に取り組んでいくこととする。

(主な取組内容)

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

- 利用ニーズを踏まえた就労支援施設の定員の見直し
- 利用者の高齢化・重度化を踏まえた両施設の日中活動内容の見直し
- ウィズコロナ時代における外出、行事等の工夫

イ 安全で快適な利用環境の確保

- 支援の質の向上等を図るための ICT 導入を見据えた Wi-Fi 環境の整備及び見守り支援機器の導入に向けた検討
- ノーリフティングケアの職員へのより一層の浸透を目指した取組
- 災害時版の事業継続計画（BCP）の策定及び研修等の実施

ウ 人材の確保及び職員の資質の向上

- 研修の受講等による支援技術等の向上
- キャリアパス等級に応じた研修計画に基づく職員教育

エ 情報公開の推進

- ホームページのリニューアル
- 機関紙「きよかぜ」による情報発信

オ 各施設・事業の連携による相乗効果の創出

- 工賃向上に向けたシルバー大学校等における就労支援事業製品の販売

② 自主自立経営の確立

ア 健康経営の推進

- 適切な職員体制の確保

イ 収入の確保と経費節減

- 相談支援事業所等との連携を通じた利用定員割れの解消
- 物品の適正使用、節電等への取組

③ 地域社会への貢献

ア 福祉人材・支援技術の活用

- 中学生・高校生による体験研修の受入

イ 施設の特徴をいかした地域貢献活動

- さくら市との「福祉避難所の設置運営に関する協定」及び「福祉避難所への災害福祉支援員の派遣に関する協定」に基づく対応の準備（継続）

- 栃木県災害福祉支援チーム（DWAT）への登録及び研修受講（継続）

ウ ボランティアの育成と連携

- 高校生等のボランティアの受入
- さくら市ユースボランティアの受入

(5) 宝木保育園

宝木保育園の基本方針と保育所保育指針に基づき、子どもたちの最善の利益を考え、心身の健全やかな成長を支援するための多様な保育サービスを提供していくとともに、ICTの活用による保護者への情報発信を行っていくほか、地域の子育て支援拠点として、相談窓口の設置、交流保育及びボランティア等の受入を継続して実施し、地域に開かれた保育所を目指す。

また、太陽光発電システムの整備を行うことにより、経費の削減を図るとともに、エネルギーや環境をテーマとした教材として保育に活用していく。

なお、次の事項について重点的に取り組んでいくこととする。

(主な取組内容)

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

- 虐待防止に関する研修会（園内研修含む）への参加

イ 安全で快適な利用環境の確保

- インシデント・アクシデントの検証結果を全職員へ周知することによる再発防止の徹底
- 事故防止対策に係る対応手順等のマニュアルの作成
- 災害時版の事業継続計画（BCP）の策定及び研修等の実施
- 保護者へ情報発信を迅速かつ丁寧に行うことを目的とする連絡システム（スマートフォンアプリ）の導入

ウ 情報公開の推進

- 保護者が保育様子を実感できる体験保育の積極的な周知
- ホームページのリニューアル、ICTを活用した園だより、保健だより、食育だよりの発行

- 写真を用いた保育記録「保育ドキュメンテーション」を活用した保護者向けの保育活動紹介の実施
- エ 各施設・事業の連携による相乗効果の創出
 - 保育園行事における、桜ふれあいの郷、清風園の就労支援事業製品の紹介及び販売協力の実施
- ② 自主自立経営の確立
 - ア 健康経営の推進
 - 業務効率化に向けた保育日誌等の様式の簡素化、行事内容等の積極的な見直し
 - イ 収入の確保と経費節減
 - 待機児童解消に向けた児童の積極的な受入
 - 一時保育及び休日保育の積極的な受入
 - 省エネ、省資源の呼びかけ、太陽光発電システム導入、及び保育業務 ICT 化による紙や電気料等の削減
 - 物品、備品の整理整頓と適正な在庫管理による節約の実施
- ③ 地域社会への貢献
 - ア 福祉人材・支援技術の活用
 - 外部講師の活用による多彩なイベントの実施
 - 職場体験学習等の積極的な受入
 - イ 施設の特性をいかした地域貢献活動
 - 栃木県災害福祉支援チーム（DWAT）への登録及び研修受講（継続）
 - ウ 行事等へのボランティアの受入
 - 地域、学生ボランティアの積極的な受入

2 生きがい健康部

(所管事業)

事業所名	事業名称			備考		
健康づくり課	指定管理事業	とちぎ健康の森	とちぎ健康づくりセンター	プール・トレーニング室利用、健康づくり講座他施設貸出		
生きがいづくり課		県南支所	とちぎ生きがいづくりセンター	シルバー 大 学 校	中央校	640人 (160人×2コース×2学年)
		県北支所			南校	240人 (120人×1コース×2学年)
		北校			240人 (120人×1コース×2学年)	
	高齢者生きがいづくり支援事業	ねんりんピックとちぎ開催事業		はつらつとちぎ21推進事業(委託事業)	スポーツ・文化交流大会、作品展	
		全国健康福祉祭(ねんりんピック)派遣事業			スポーツ・ふれあいスポーツ・文化交流大会、美術展	
		介護支援専門員実務研修受講試験事業		自主事業		指定実施機関
介護支援専門員研修事業			法定研修、指導者養成研修、指導者会議			
賛助会員入会促進事業			法人会員			
	情報誌発行事業		補助事業	年間4回発行		
生きがい就労課	シルバー人材センター事業に対する支援 高齢者活躍人材確保育成事業					

(1) 生きがいづくり課

指定管理事業であるとちぎ生きがいづくりセンター、シルバー大学校の運営及び高齢者生きがいづくり支援事業として、高齢者の自主的かつ積極的な生きがいづくりの支援、豊かで生きがいに満ちた高齢社会を形成するため、「とちぎはつらつプラン21(八期計画)」や「とちぎ健康21プラン(2期計画)」に沿った生きがいづくり事業を実施する。

各事業、イベントの実施に当たっては、県が要請する基本的な感染防止対策を必要に応じて講ずることにより、安全かつ適切な事業の実施に努める。

令和5年度で現指定管理期間が終了となるシルバー大学校については、次期指定管理の指定申請に向けた準備を進めるとともに、更なるサービス向上を図るため、従来からの実施の授業に関するアンケート調査に加え、学校運営に関するアンケート調査を新たに実施する。

また、入学者数の増を図るため、入学案内の内容見直しやホームページの内容を刷新するなど、広報活動の充実強化を図る。

介護支援専門員研修事業では、令和6年度からの新カリキュラムへの移行に向けた準備、研修のオンライン化、研修講師や演習支援者となる人材育成等の課題に対し、県等関係機関と連携の上、適切に対応する。

(主な取組内容)

ア とちぎ生きがいつくりセンター (シルバー大学校)

① 質の高いサービスの提供

シルバー大学校において、高齢者の健やかで生きがいのある人生を支援し、活力ある地域社会を築くため、地域社会の活性化を促す役割を担う高齢者の育成と、高齢社会を豊かに過ごすためにふさわしい知識・教養を学ぶための各種の学習機会を提供する。

○学習年限：2年間（10月～9月）

○学習時間：年間40日 160時間（2年間 80日 320時間）

○学習内容：1年次…地域活動に必要な基礎的な科目の修得

2年次…4つの専門科目のうち1つの科目の選択、修得

(スポーツ・レクリエーション学科、健康づくり学科、福祉学科、ふるさとふれあい学科)

○地域活動の実践に繋がるカリキュラムの充実

地域活動実習、地域活動団体等とのマッチング実施、同窓会支部等の活動事例紹介等

○とちぎ生きがいつくりセンター県南支所・県北支所の施設、設備の適正な維持管理

② 自主自立経営の確立

○学生の確保に係る活動

入学案内の内容見直し、ホームページの刷新等による広報活動の強化

イ ねんりんピックとちぎ開催事業

① 質の高いサービスの提供

スポーツ、レクリエーション、文化活動等を通して、高齢者を中心とした県民の生きがいと健康づくり、社会参加の促進、世代間交流等を図り、県民の誰もが長寿をともに喜び合うこと等を目的とし、併せて全国健康福祉祭の派遣選手及び出品作品の選考会として「ねんりんピックとちぎ2023」を開催する。

○期間：令和5年4月20日（木）～6月4日（日）

○内容：スポーツ・文化交流大会（19種目）、シルバー作品展（6部門）

ウ 全国健康福祉祭への選手団派遣

① 質の高いサービスの提供

スポーツや文化種目の交流大会を始め、健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与するため、全国健康福祉祭（愛称：ねんりんピック）に選手団を派遣するとともに、美術作品を出品する。

○大会名称：第35回全国健康福祉祭えひめ大会

（ねんりんピック愛顔（えがお）のえひめ2023）

○派遣期間：令和5年10月28日（土）～10月31日（火）

○派遣内容：スポーツ交流大会・ふれあいスポーツ交流大会・文化交流大会（21種目）
美術展（12点出展）

○派遣人員：選手・役員 約170名

エ 介護支援専門員実務研修受講試験事業

① 質の高いサービスの提供

栃木県介護支援専門員実務研修受講試験指定実施機関として、試験に係る業務を次のとおり実施する。

○試験日：令和5年10月8日（日）

○受験者数：700人（見込）

オ 介護支援専門員研修事業

① 質の高いサービスの提供

栃木県の指定を受け、介護支援専門員を養成する実務研修や現任者を対象とした法定研修等を体系的に実施し、要介護者等の自立支援のための適切なケアマネジメントを行う介護支援専門員の専門性の強化と資質の向上を図る。

なお、研修の実施に当たっては、引続きオンライン研修と従来の集合研修の同時開催等、受講生が受講形式を選択するハイブリッド形式による研修の円滑な実施を図る。

○実施期間：令和5年5月～令和6年3月

○受講者数：1,070人（見込）

(2) 健康づくり課

とちぎ健康づくりセンターの指定管理事業として、生活習慣の改善による生活習慣病の予防とその他県民の自主的な健康づくりを総合的に支援するため、「運動・栄養・休養」の視点から様々な健康づくり事業を行う。

特に、「とちぎ健康21プラン（2期計画）」や「健康長寿とちぎづくり推進条例」に基づき設置された「健康長寿とちぎづくり推進県民会議」の一員として、関係機関・団体との連携協働により事業を実施する。

公の施設である「とちぎ健康づくりセンター・とちぎ生きがいつくりセンター（とちぎ健康の森）」について、県民誰もが安全・安心かつ快適に利用できるよう、敷地内緑地の適正管理や施設・設備の維持管理に努める。

今年度は、現指定管理期間最終年であるため、次期指定管理申請に向けた準備を適切に進めるとともに、引き続き安全かつ適切な事業の実施に努める。

また、「とちぎ健康の森フェス2023」は、栃木県誕生150周年記念協賛行事として開催する。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したプール・トレーニング室の利用者の増加を図るため、ホームページの刷新、LINE公式アカウント等様々なメディアを活用した情報発信及び利用促進キャンペーンの実施等、広報活動の充実強化を図る。

（主な取組内容）

ア とちぎ健康づくりセンター（健康づくり事業）

① 質の高いサービスの提供

○施設利用講習：初めての施設利用者向け

○施設利用指導：プール・トレーニング室利用者向け

○保健師による面接：ハイリスク者等の施設利用時の配慮

○集団指導：とちぎ健康21プラン（2期計画）に沿った運動の継続的な実践を目的に実施

○健康づくり講座：とちぎ健康21プラン（2期計画）に沿った内容で、生活習慣病の予防等をテーマとした講座の実施

○体力測定、運動実践メニュー作成

○健康づくり相談：施設利用講習、カード更新時における専門職員による相談

② 地域社会への貢献

○地域や団体等に出向いた講座や研修会（自主事業）

イ とちぎ健康づくりセンター（施設管理）

① 質の高いサービスの提供

○施設・設備等の適切な維持管理

○災害・事故等の危機管理対策の推進

○利用者の個人情報の適正管理

○利用者ニーズや利便性を考慮した施設運営

インターネットからの施設予約、講習・講座予約、利用料のコンビニ収納、スマホ決済
対応、利用者アンケート、サービス向上委員会実施等（継続）

○広報活動・イベント等

ホームページの刷新、とちぎ健康の森フェスの開催、LINE 公式アカウントの活用、情報
誌「さんぽ」の発行他

② 自主自立経営の確立

○利用者増加対策に係る活動

利用促進キャンペーンの実施、企業等への利用チケット制の提案他

③ 地域社会への貢献

○家庭の日協賛事業としての運動フロアの無料開放

(3) 生きがい就労課

高齢者が長年培った豊かな経験と知識・技能を生かし、働くことを通して地域社会の活性化に
貢献し、健康で生きがいをもった高齢期を送ることができるよう、高齢者の希望に応じた就業機
会を確保し、安全で適正な就業を提供するための普及啓発、研修、相談・指導等を実施するなど、
公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会の事務・事業を担っていく。

ア シルバー人材センター事業に対する支援

栃木県内のシルバー人材センター事業の普及啓発、運営の相談、指導及び助言を行うとともに
に、県内センターの会員確保及びシルバー事業の拡充を支援する。

イ 高齢者活躍人材確保育成事業

地域の高齢者や企業に対する積極的な周知・広報、就業体験を通じた高齢者、企業双方のシ
ルバー人材センターに対する理解促進、及び必要な技能講習の実施により、新規会員及び活用
企業の増加を図る。

IV 利用実績及び計画

1 総務福祉部

(単位：人)

わかくさ	令和3年度実績			令和4年度見込			令和5年度計画		
	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率
世帯数(世帯)	227	18.9	94.5%	165	13.7	68.8%	204	17.0	85.0%
家族人員	596	49.7	—	451	37.5	—	528	44.0	—
母親	227	18.9	—	165	13.7	—	204	17.0	—
児童	369	30.8	—	286	23.8	—	324	27.0	—

桜ふれあいの郷	令和3年度実績			令和4年度見込			令和5年度計画			
	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	
児童	措置児童	4,319	11.9	107.6%	4,085	11.1	86.1%	5,124	14.0	100.0%
	契約児童	846	2.4	57.9%	640	1.7	87.7%	364	0.9	99.5%
	施設入所	5,145	14.1	94.0%	5,335	14.6	97.4%	5,319	14.5	96.9%
	生活介護	3,679	14.1	94.0%	3,633	13.9	92.8%	3,771	14.5	96.7%
生活	施設入所	43,828	120.1	92.4%	43,269	118.5	91.2%	45,391	124.0	95.4%
	生活介護	31,489	120.7	89.4%	30,685	117.5	87.1%	33,274	127.9	94.8%
就労	施設入所	14,095	38.7	96.5%	13,739	37.6	94.1%	14,113	38.5	96.4%
	生活介護	8,169	31.3	78.2%	8,193	31.3	78.5%	9,474	36.4	91.1%
	就労継続B	9,020	34.6	86.4%	9,657	37.0	92.5%	9,714	37.3	93.4%
共同生活援助	18,599	51.0	94.4%	19,429	53.2	98.6%	19,467	53.1	98.5%	

桜ふれあいの郷	令和3年度実績			令和4年度見込			令和5年度計画			
	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	
短期入所	児童	64	5	17.5%	10	1	2.7%	4	1	1.1%
	生活	428	6	39.1%	327	4	29.9%	110	4	10.0%
	就労	6	1	1.6%	0	0	0.0%	4	1	1.1%
日中一時	1,488	16	38.0%	1,533	17	39.2%	1,390	12	35.6%	

清風園	令和3年度実績			令和4年度見込			令和5年度計画			
	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	
生活	施設入所	17,663	48.4	96.8%	16,521	45.2	90.5%	17,203	47.0	94.0%
	生活介護	13,780	44.1	83.1%	12,752	40.7	76.9%	13,480	42.9	81.0%
就労	施設入所	15,245	41.8	83.6%	15,695	43.0	86.0%	15,738	43.0	86.0%
	生活介護	9,603	36.8	81.8%	9,512	36.4	81.0%	10,062	38.7	86.0%
	就労継続B	5,544	21.3	106.3%	4,960	19.0	95.0%	5,220	20.0	100.0%

清風園		令和3年度実績			令和4年度見込			令和5年度計画		
		年間延利用者数	利用実人数	稼働率	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	年間延利用者数	利用実人数	稼働率
短期入所	生活	282	8	15.5%	264	6	14.5%	292	6	16.0%
	就労	30	3	4.2%	111	5	15.2%	117	5	16.0%
日中一時	生活	164	3	9.0%	152	3	8.3%	182	3	9.9%
	就労	4	2	0.6%	3	1	0.4%	6	1	0.8%

宝木保育園		令和3年度実績			令和4年度見込			令和5年度計画		
		年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率
乳児	0歳児	186	15.5	—	197	16.4	—	197	16.4	—
	1歳児	360	30.0	—	359	29.9	—	360	30.0	—
	2歳児	359	29.9	—	356	29.6	—	360	30.0	—
幼児	3歳児	360	30.0	—	360	30.0	—	360	30.0	—
	4歳児	360	30.0	—	360	30.0	—	360	30.0	—
	5歳児	372	31.0	—	360	30.0	—	360	30.0	—
合計		1,997	166.4	104.0%	1,992	166.0	103.8%	1,997	166.4	104.0%

2 生きがい健康部

	令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度計画
とちぎ健康づくりセンター			
施設利用講習年間利用者数（人）	815	1,330	2,865
プール・トレーニング室年間利用者数（人）	25,190	45,523	65,131
会議室等年間利用時間（時間）	3,596	5,137	8,510
とちぎ生きがいづくりセンター			
講堂等年間利用時間（時間）	3,454	—	—
県南支所 教室等年間利用時間（時間）	837	—	—
県北支所 教室等年間利用時間（時間）	654	—	—
シルバー大学校学生数（中央校、人）	433	418	538
シルバー大学校学生数（南校、人）	205	206	232
シルバー大学校学生数（北校、人）	141	133	189
高齢者生きがいづくり支援事業			
ねんりんピックとちぎ参加人数（人）	1,568	1,974	3,000
全国健康福祉祭派遣実績（派遣場所、人数）	岐阜県・中止	神奈川県146	愛媛県160
介護支援専門員実務研修受講試験申込者数（人）	785	810	700
介護支援専門員研修事業延受講者数（人）	921	1,047	1,070